

実効性ある個別避難計画 作成のために ～民も官も力を合わせて～ 大阪府個別避難計画作成研修会

資料 1

令和4年1月19日(水)

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

内閣府個別避難計画作成モデル事業アドバイザーボード座長
鍵屋 一

新型コロナウイルス対策と社会経済活動

○蔓延すると医療体制がひっ迫する

→他の傷病者の治療も十分にできなくなる

○致死率はそれほど高くない

→ただし、高齢者、基礎疾患のある方は危険

⇒変異ウイルスは危険性がより高くなっている

○高齢者等が必要以上に、人や地域社会との交流を避けると、心身ともに弱くなる

○移動を制限すると経済活動が停滞し、社会全体が委縮する

⇒コロナ対策がすべてではなく、地域活動、福祉や経済がすべてでもない。完全を求めず半分動かす、白黒がつかないストレスの多い状況が続く。

命を守る防災のコツ

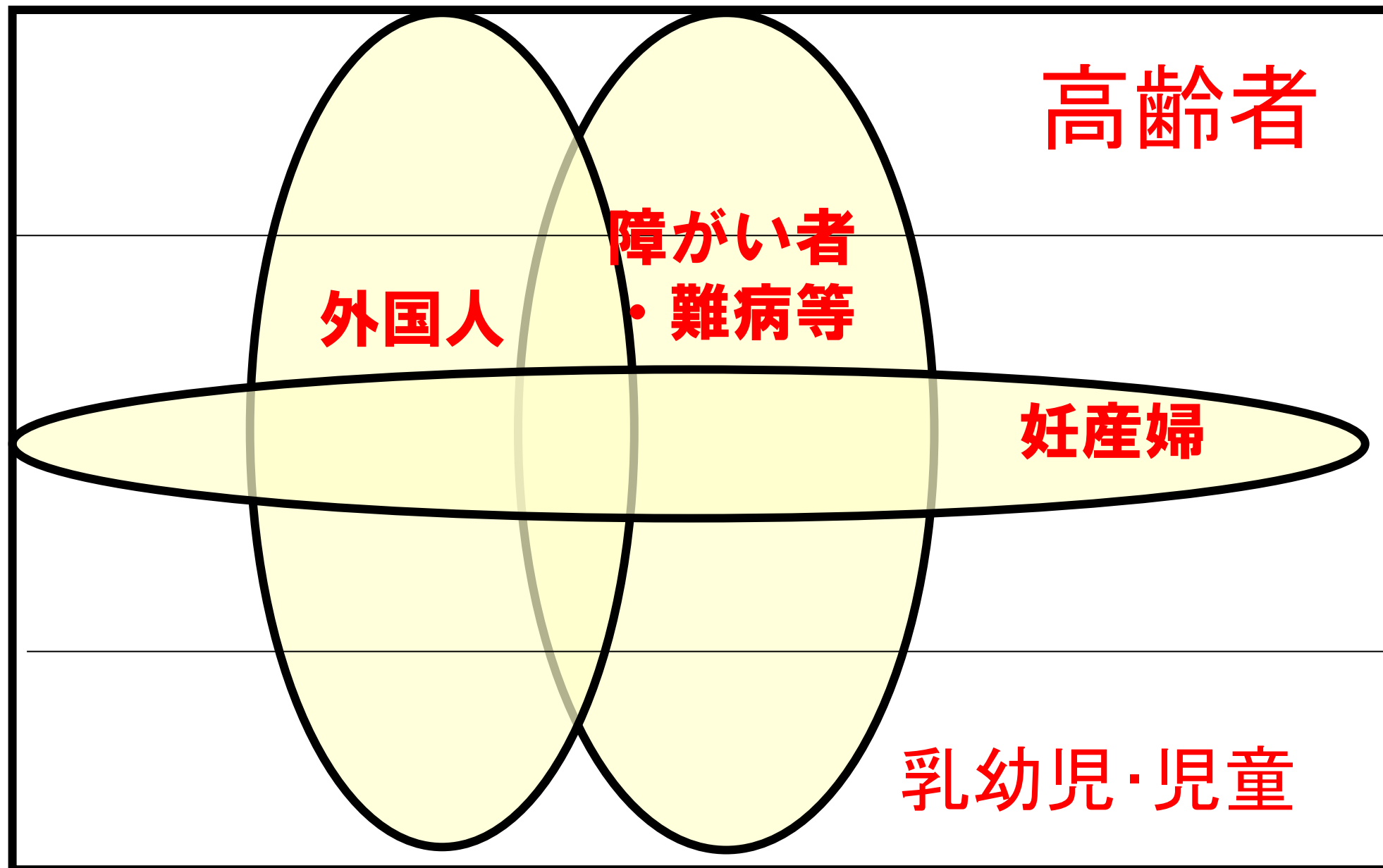
⇒早く逃げる

自分だけでは逃げら

れない人は？

※地震は家を強くし、家具を倒さない

災害時要配慮者とは？



上記の中で自分だけでは避難できない方
＝避難行動要支援者

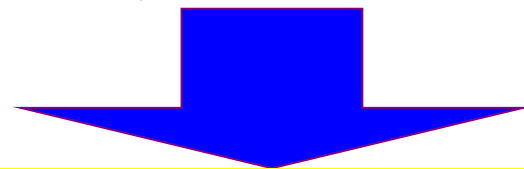
祝！男鹿のナマハゲら来訪神 ユネスコ 無形文化遺産！ 2018年11月29日



ナマハゲは避難支援者！

■平時は五穀豊穡、家内安全を祈って
家に入る来訪神

■災害時は、ナマハゲ台帳に基づ
いて避難支援

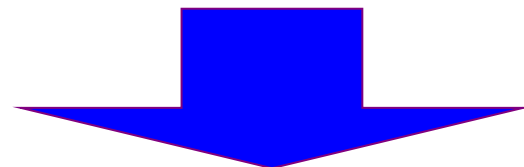


- 避難場所（神社）を日頃から使う
- 避難場所までの参道を整備
- 確実な避難方法（同行避難）

個別避難計画は現代のナマハゲ台帳

■平時はコミュニティと福祉専門職による支援

■災害時は、個別避難計画（ナマハゲ台帳）に基づいて避難支援



- 避難場所（福祉施設、公民館等）を決定
- 避難場所までの安全な避難路を確認
- 確実な避難方法（車や徒歩で同行避難）

災害被害の方程式

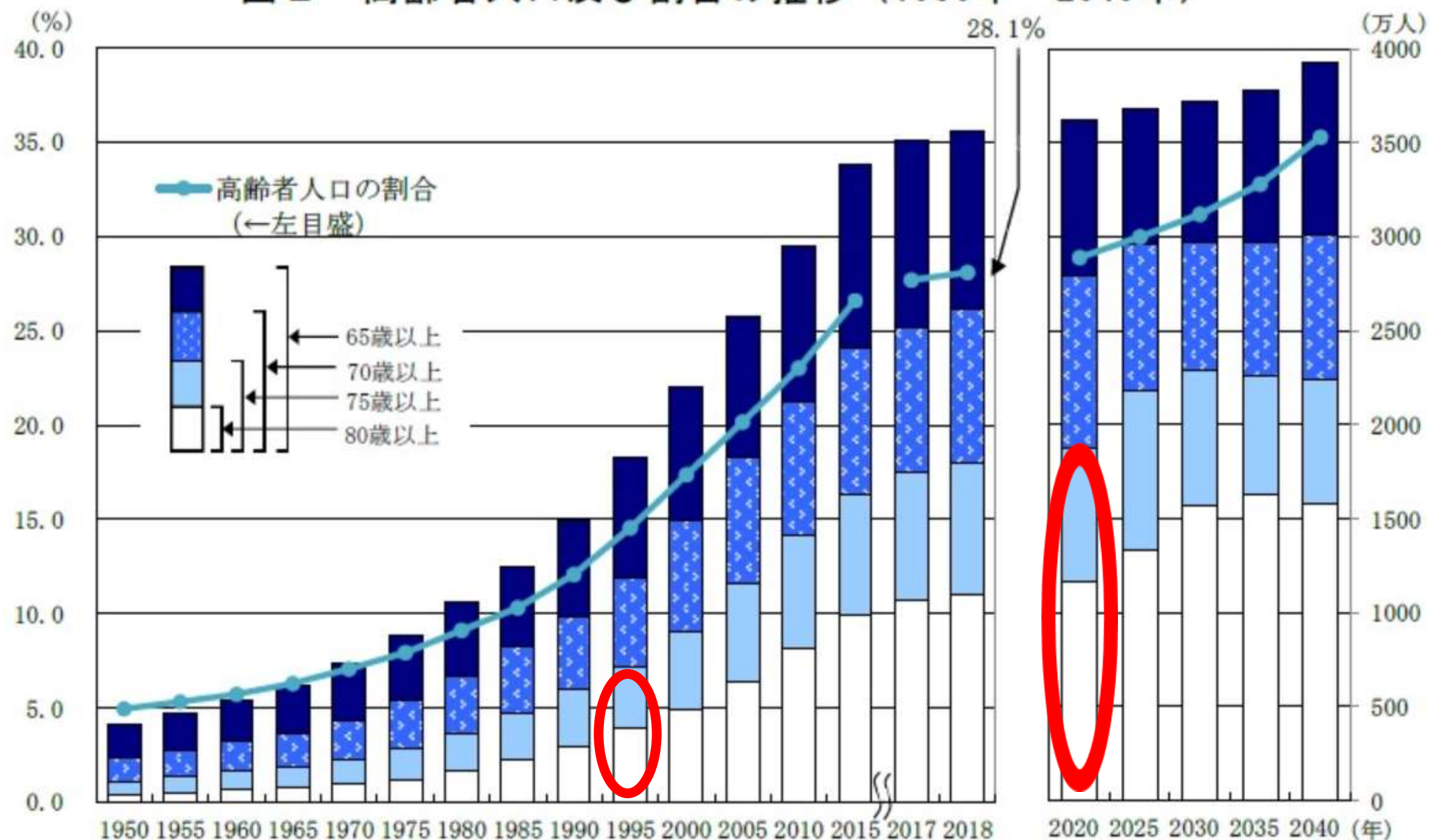
自然の外力×人口(暴露量)

×社会の脆弱性

進み続ける高齢化（出典：統計局HP）

75歳以上は25年で2.6倍！

図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



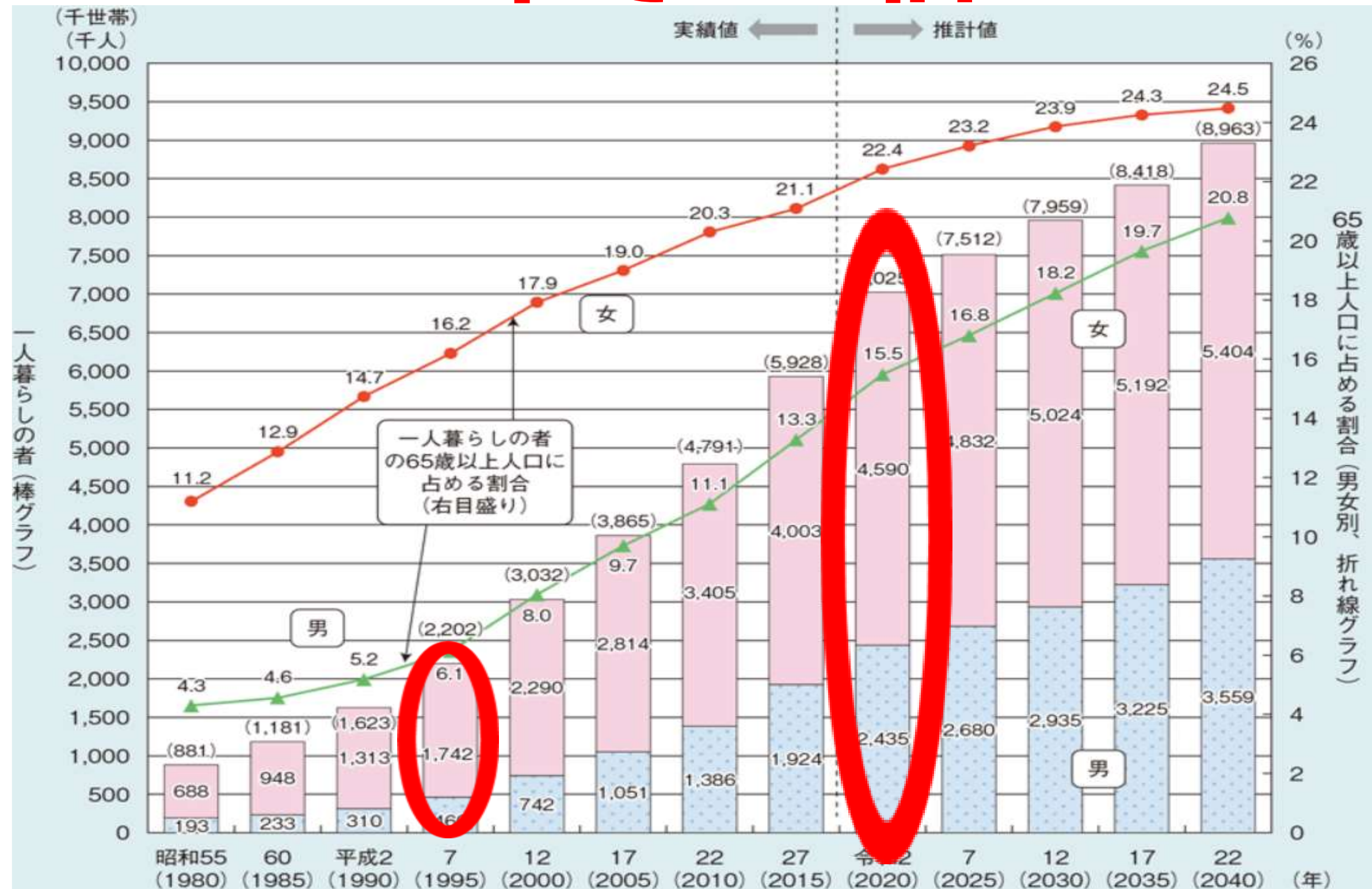
資料：1950年～2015年は「国勢調査」、2017年及び2018年は「人口推計」

2020年以降は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計

激増する高齢単身世帯！

出典：令和元年高齢者白書

25年で3.2倍！



資料：平成27年までは総務省「国勢調査」による人数、令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）2018（平成30）年推計」による世帯数

(注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」又は「一般世帯（1人）」のことを指す。

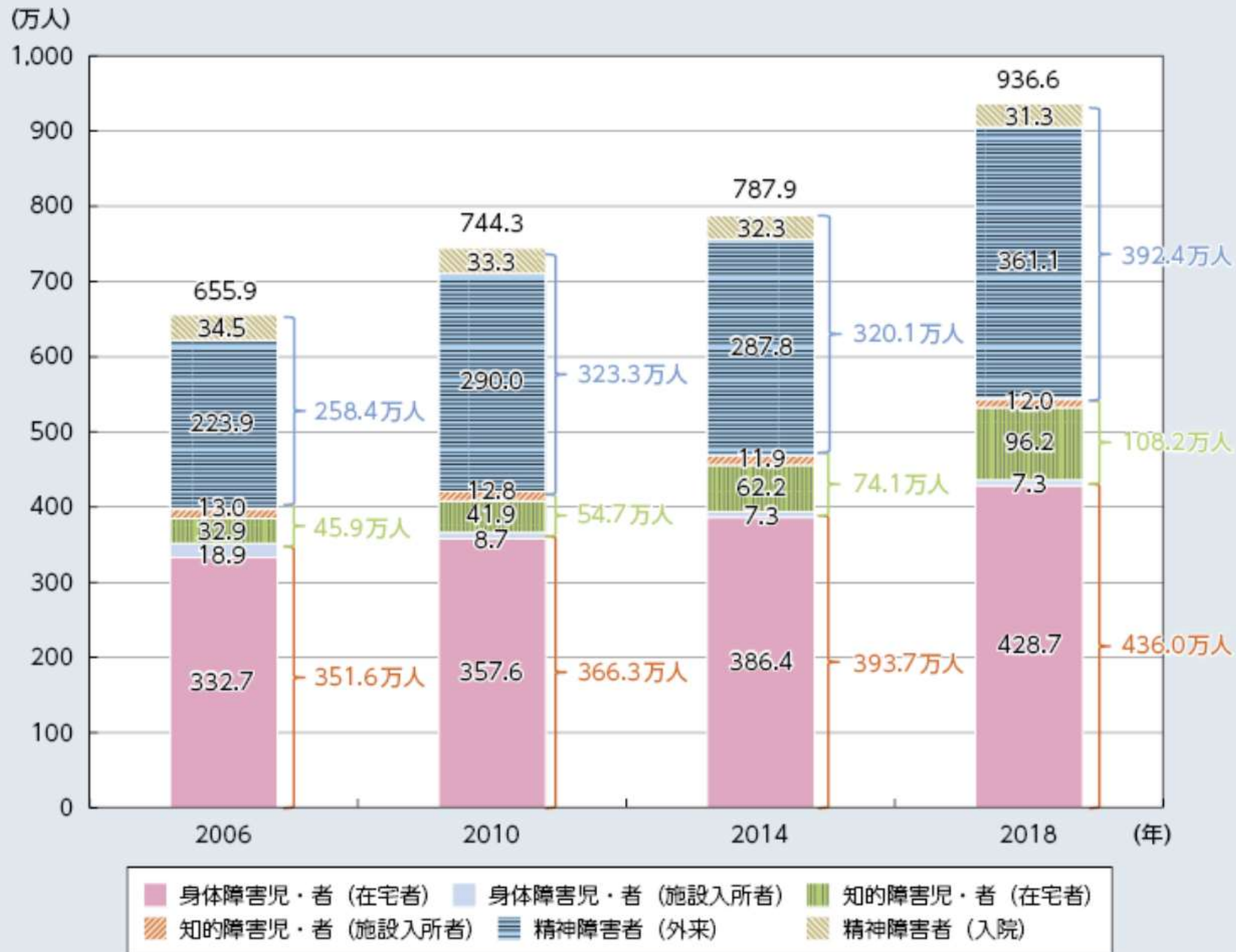
(注2) 棒グラフ上の（ ）内は65歳以上の一人暮らしの者の男女計

(注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

障がい者は25年で約62.5%増

(下図は12年で43%増) 出典：厚生労働省HP

図表 1-1-2 障害者数の推移



特定医療費（指定難病） 受給者証所持者数の変化 **25年間で3.24倍！**

1995年3月 291,856人

2020年3月 946,110人

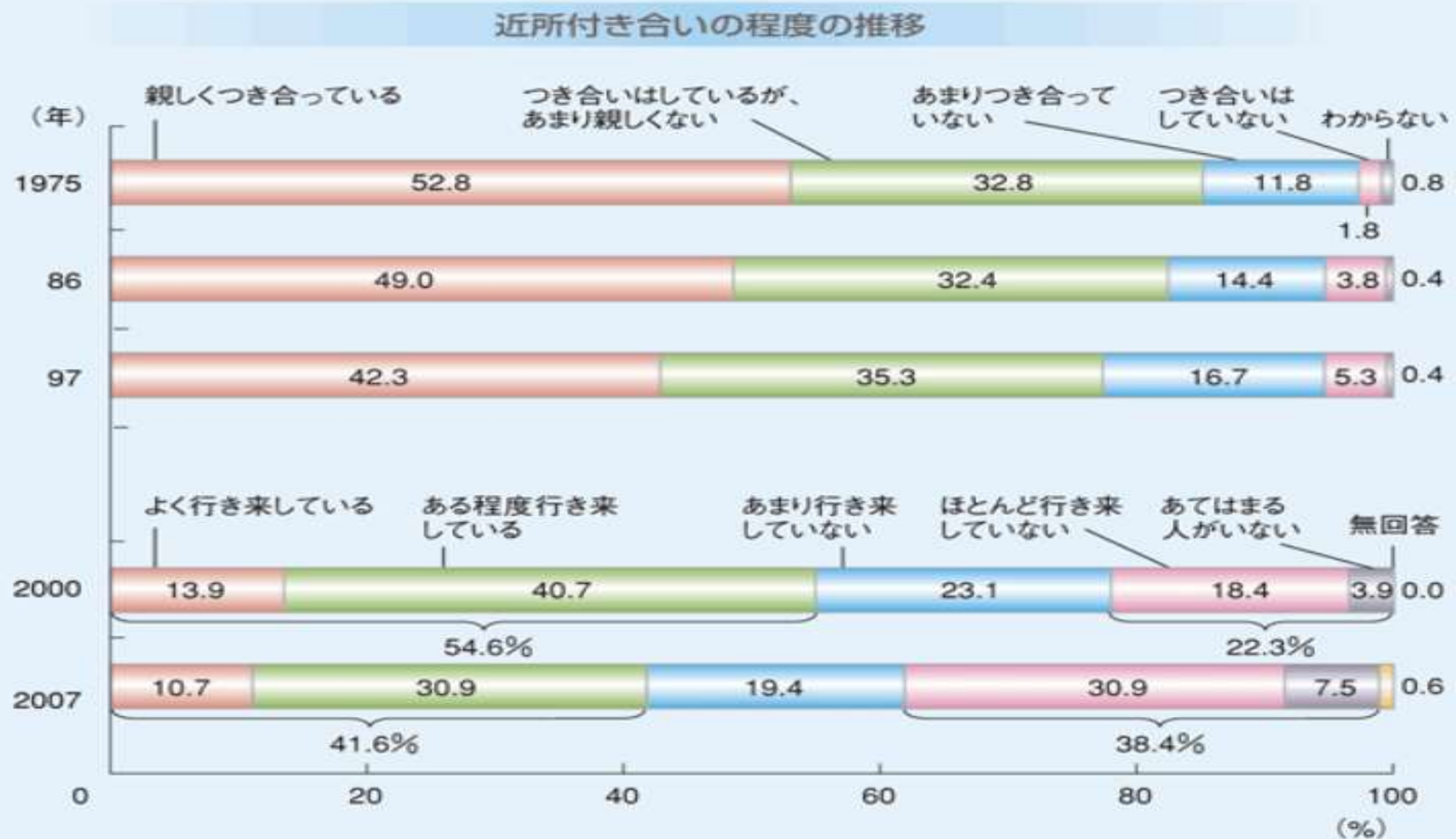
出典：難病情報センターHP

近所づきあいは減っている！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-19図

近隣関係は希薄になっている

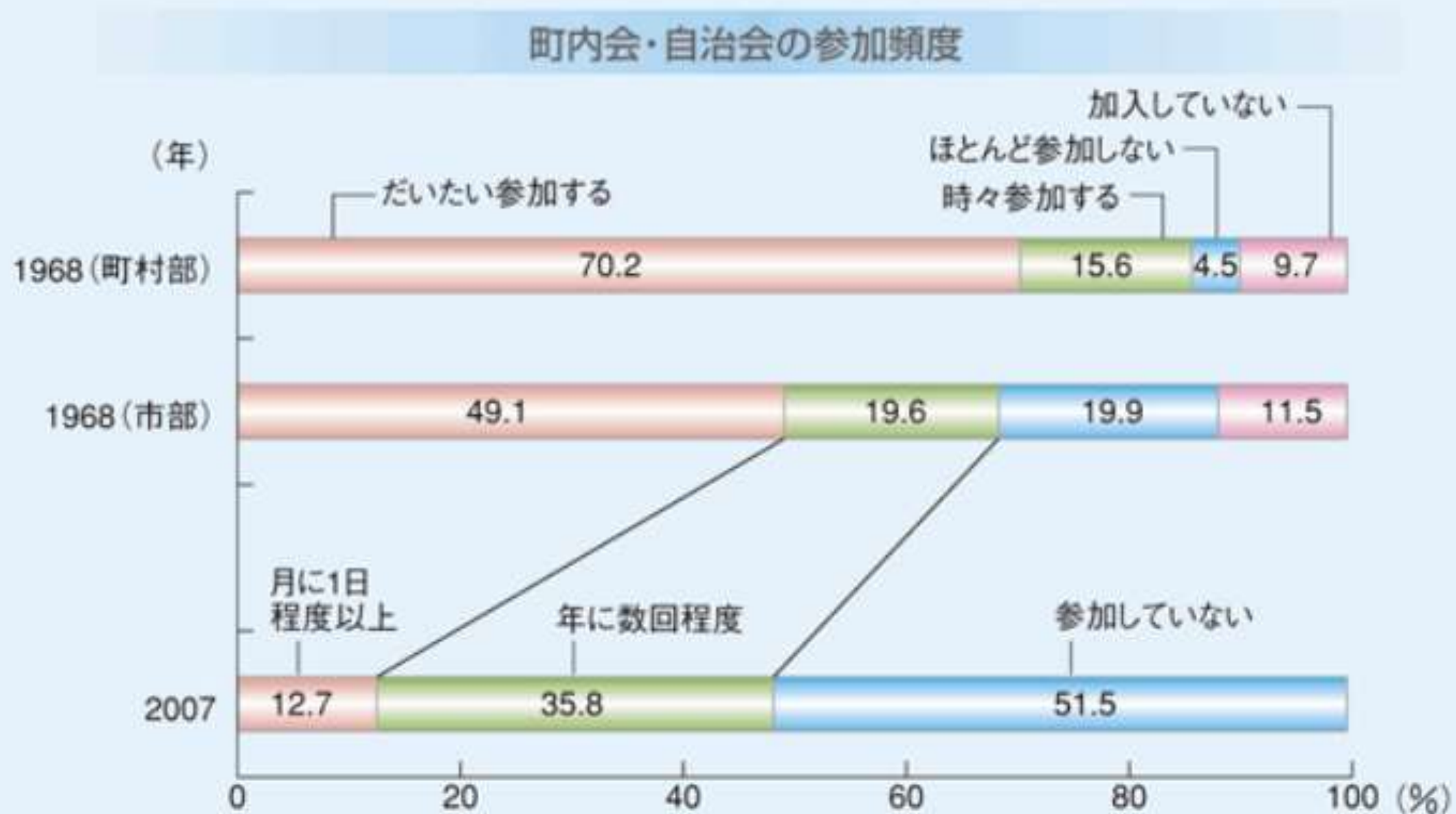


町内会自治会活動への参加も低下！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-22図

町内会・自治会への参加頻度は少なくなっている



あと少しの支援があれば・・・

- 在宅の障がい児者を高齢者が世話をしている家庭も多かった。残念なことに、高齢者の判断が遅れ、ともに逃げ遅れた事例がいくつもあった。
- 自閉症の子どもがいることを近所の方が前から知っていたので、支援に駆け付け、一緒に避難して助かった
- 多くの被災地を回った経験からは、残念なことに障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまく行われていないと思う

中村雅彦「あと少しの支援があれば 東日本大震災障がい者の被災と避難の記録」、ジアース教育新社、2012年2月

減り続ける消防団員数！

出典：総務省消防庁HP

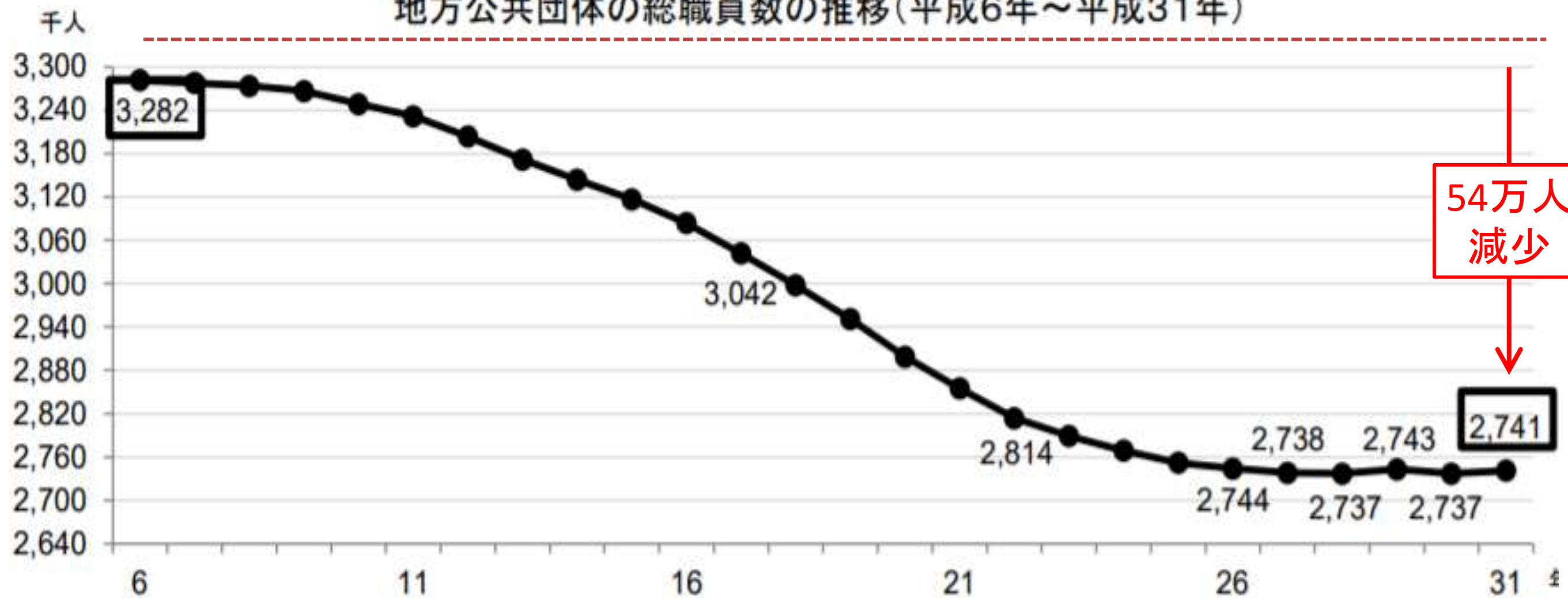


公助にも限界が...

自治体職員は25年で16.5%減！

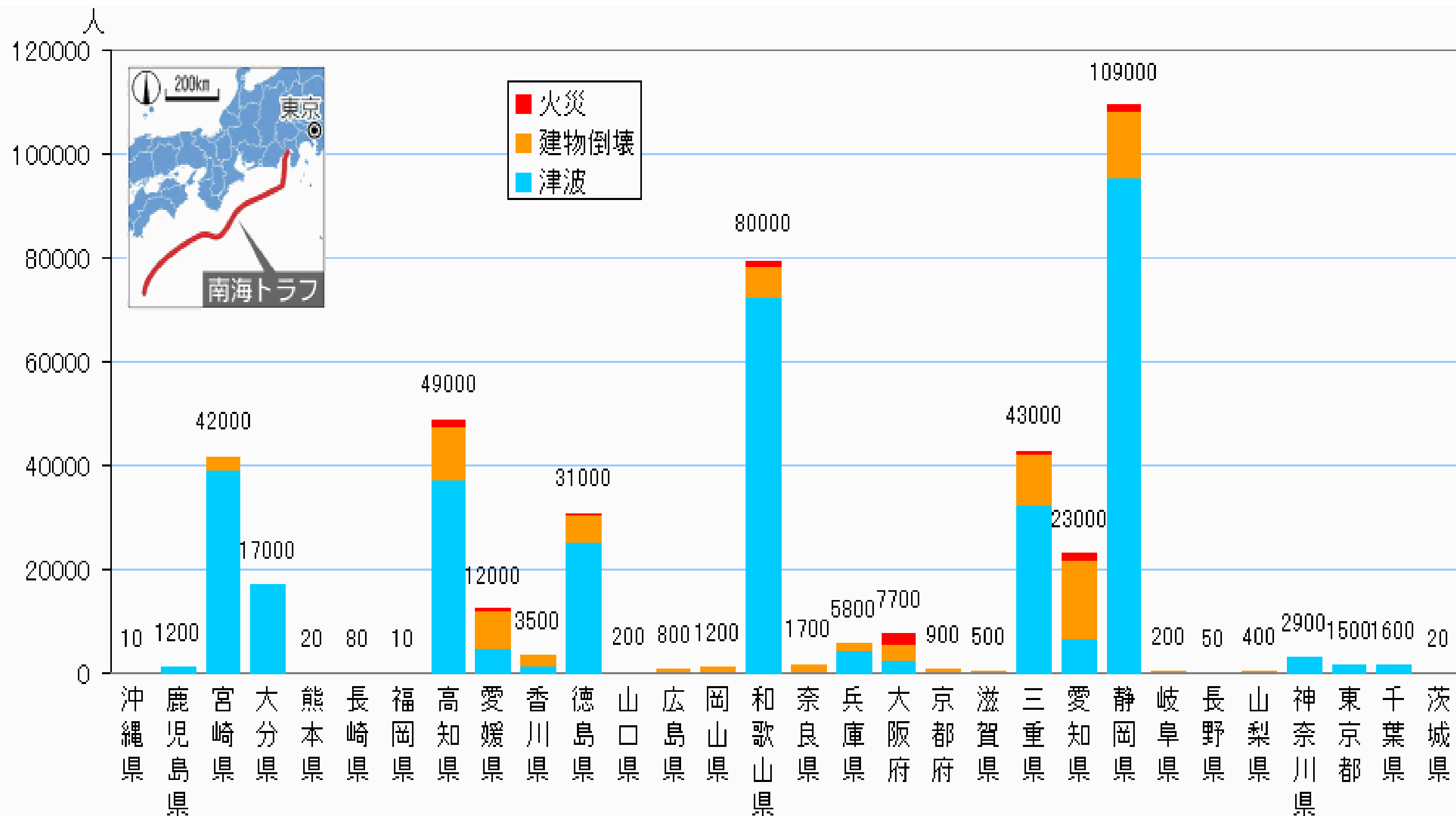
出典：総務省HP

地方公共団体の総職員数の推移（平成6年～平成31年）



南海トラフ巨大地震！

最悪のケースでは死者32万3000人、倒壊・焼失建物が
238万6000棟 出典：毎日新聞2012年8月30日（内閣府公表資料から作成）



大阪市域の地震による被害想定

	内陸活断層による地震				海溝型の地震	
	上町断層帯地震	生駒断層帯地震	有馬高槻断層帯地震	中央構造線断層帯地震	東南海・南海地震	南海トラフ巨大地震
マグニチュード	7.5～7.8	7.3～7.7	7.3～7.7	7.7～8.1	7.9～8.6	9.0～9.1
震度	5強～7	5弱～6強	5弱～6弱	4～5強	5弱～6弱	5強～6弱
建物被害 (全壊＋半壊)	約27.7万棟	約13.5万棟	約1.4万棟	約0.2万棟	約2.6万棟	約29.6万棟
死者数	約8,500人	約1,400人	～100人	0人	～100人	約12万人

近年の豪雨災害における高齢者等の被害

●平成30年 7 月豪雨

愛媛県、岡山県、広島県の死者数のうち、60歳以上の死者数の割合→**約70%**(131人/199人)
(うち市区町村別死者数最大の倉敷市真備町における70歳以上の割合→約80%(45人/51人))

●令和元年台風第19号

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合→**約65%**(55人/84人)

●令和 2 年 7 月豪雨

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合→**約79%**(63人/80人)

(うち熊本県約85%(55人/65人))

(高齢者の死者数/全体死者数)

出典:「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について(最終とりまとめ)」2020年12月24日

○なぜ、人は備えないのか？（逃げ遅れるのか？）

○なぜ、行政、福祉、企業等の災害対策の優先順位は低いのか？

正常化の偏見

「自分は大丈夫！」

・・自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性

ex) 逃げない非常ベル

・・・初着のリスク情報の無視

大地震発生直後、あなたは家族と家にいました。何をしますか？

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

2011年3月11日 東日本大震災

死者：19,674名

行方不明：2,526名

計：22,200名（以上）

（警察庁：2021.3）

避難者数：約4万名

（復興庁2021.3）

震災関連死：3,775名：復興庁2021.3



釜石市鵜住居地区

東京大学大学院
片田敏孝教授提供



鵜住居地区



両石地区

誰が逃げろと伝えたか？

- 第1位 101人 家族・同居者
- 第2位 97人 近所、友人
- 第3位 74人 福祉関係者
- 第4位 30人 警察・消防(団を含む)

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、315人、複数回答あり)2013年

誰が逃げるのを支援したか？

- ・第1位 85人 家族・同居者
- ・第2位 60人 近所、友人
- ・第3位 53人 福祉関係者
- ・第4位 11人 消防・消防団

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、197人、複数回答あり)2013年

⇒近所・友人と福祉関係者の支援力が強い！

東日本大震災 死者の教訓

○高齢者が約6割、障がい者死亡率は2倍

⇒個別避難計画・地区防災計画で近所や福祉とのつながりが必要！

○自治体職員288名（地方公務員災害補償基金2019年2月）、
消防団員254名（H24.12.消防庁）民生委員56名。

高齢福祉施設職員173名（厚労省保健局：H24年6月）

⇒個別避難計画で支援者の危機管理能力向上

○震災関連死3775名

・89%が66歳以上、移動や避難所で衰弱

⇒福祉施設BCP、福祉避難所が必要！

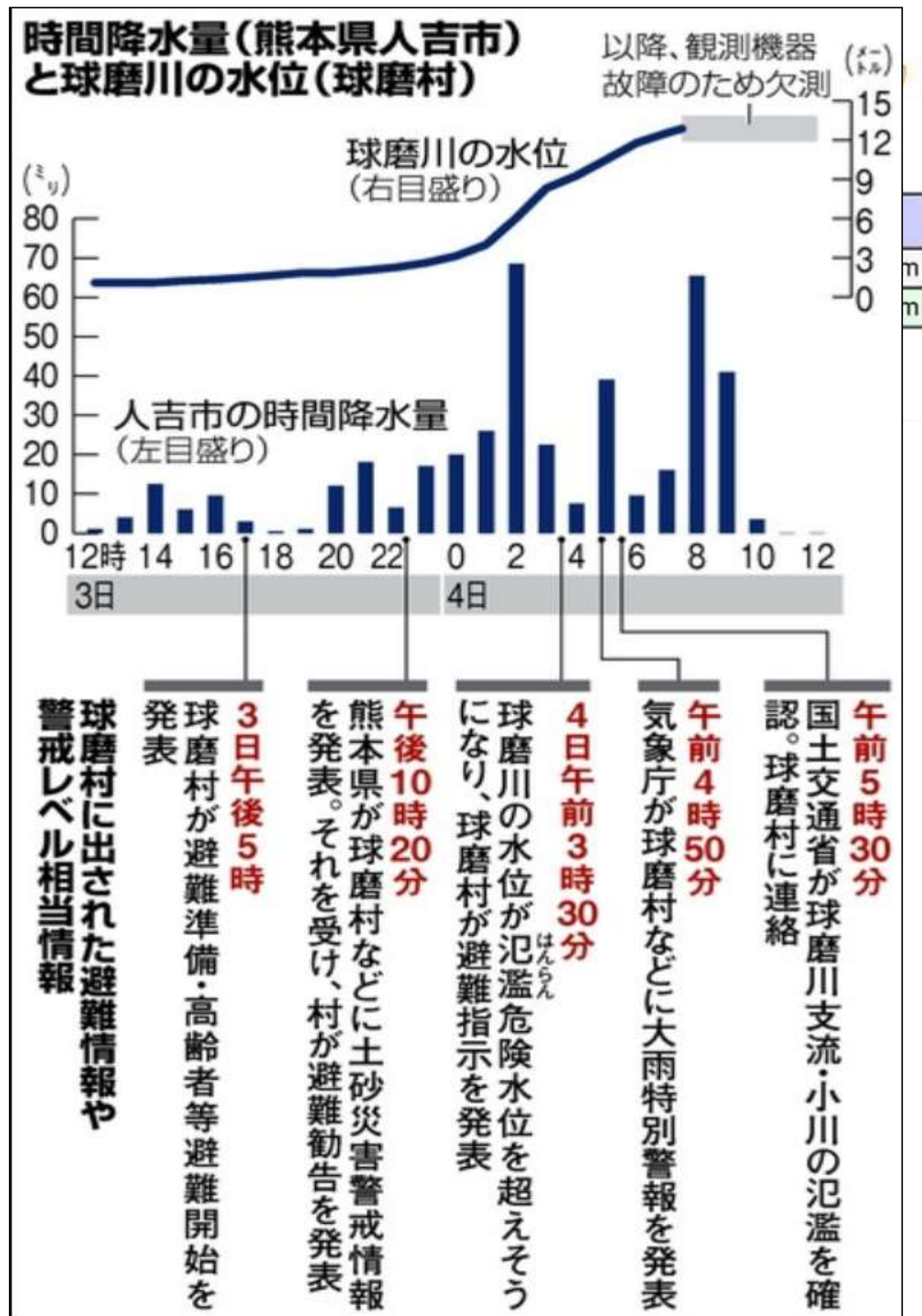


2021年7月11日 熱海市伊豆山地区 鍵屋撮影

社会福祉法人 慈愛会
特別養護老人ホーム 千寿園



7時間で500mmの累加雨量！ 気候危機！



市房ダム

防災操作開始水位基準値:280.7(m)

7月4日11:00am実測値:280.6(m)

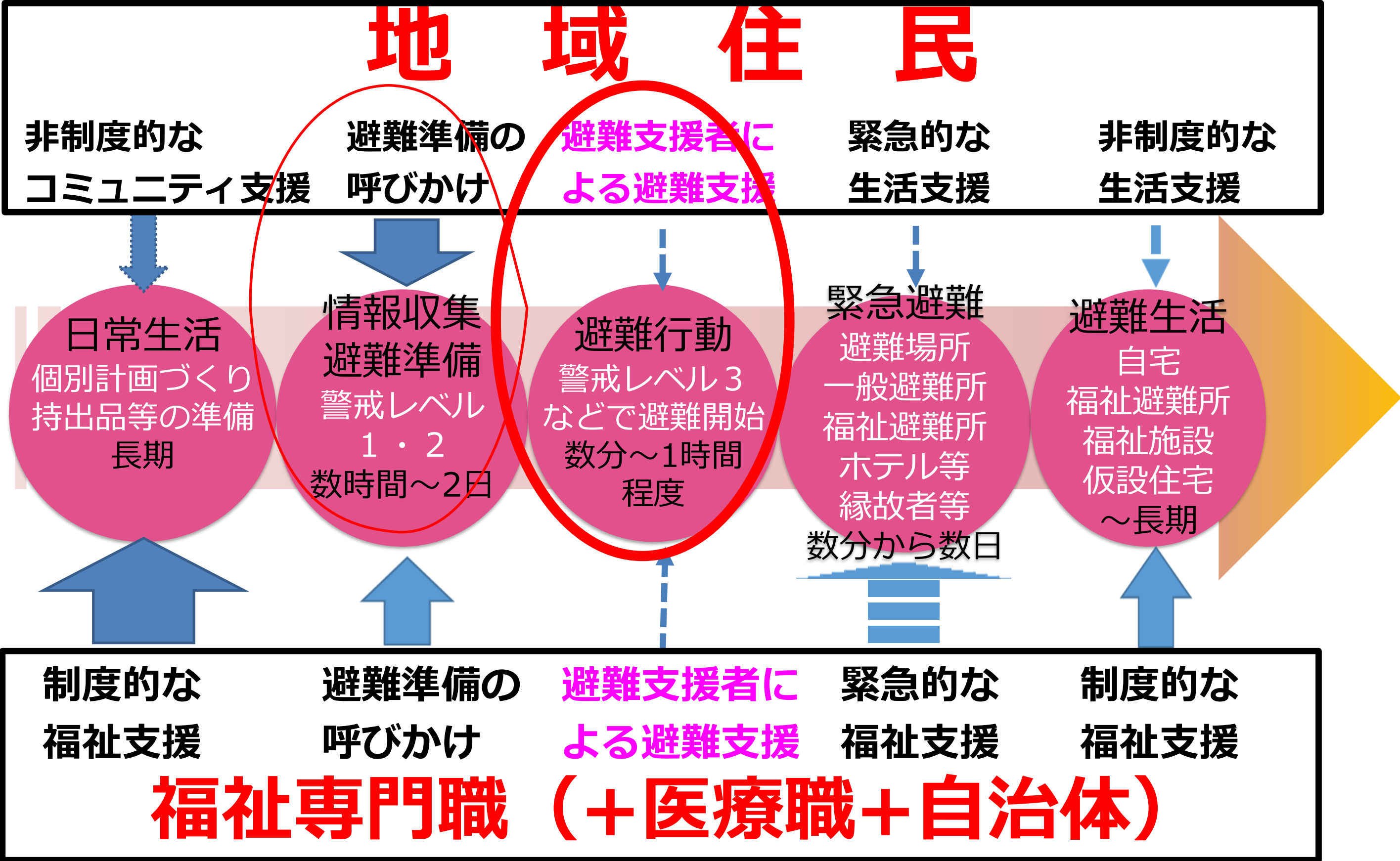


災害関連死の状況

出典：NHK他

災害発生日時	災害名	直接死者数	関連死者数	行方不明	合計	関連死割合
1995年1月17日	阪神・淡路大震災（兵庫県内）	5,483	921	3	6,407	14.3%
2004年10月23日	新潟県中越地震	16	52	0	68	76.5%
2011年3月11日	東日本大震災	15,900	3,775	2,525	22,200	17.0%
2016年4月14日	熊本地震	50	218	0	268	81.3%
2018年7月6日～	西日本豪雨災害	222	74	8	304	24.3%
2019年10月12日～	東日本台風災害	84	21	3	108	19.4%

地域住民の善意に頼る避難支援！？



2021年は福祉防災元年！

- 「避難準備・高齢者等避難情報」
⇒「高齢者等避難」
- 個別避難計画作成を市区町村
の努力義務化
- 介護福祉事業所、障害福祉
サービス事業所に3年以内に
BCP作成を義務付け
- 福祉避難所ガイドライン改定
- 浸水被害の危険がある地区の開発規
制等の流域治水関連法

災害時の避難関連計画（鍵屋作成）

凡例：青字は2020年度までに義務付け
（）は任意の計画

	施設入所者	在宅		
	福祉施設、グループホーム入所者	避難行動要支援者（福祉有り）	避難行動要支援者（福祉無し）	その他
避難呼びかけ 避難確認 避難誘導 同行避難	非常災害対策計画、避難確保計画	(地区防災計画) (個別計画)	(地区防災計画) (個別計画)	(地区防災計画)
災害発生！				
安否確認 避難生活支援		(福祉避難所)	(福祉避難所)	
復旧復興				

災害時の避難関連計画（鍵屋作成）

凡例：赤字は2021年度から義務付け
青字は2020年度までに義務付け、（）は任意

	施設入所者	在宅		
	福祉施設、グループホーム入所者	避難行動要支援者（福祉有り）	避難行動要支援者（福祉無し）	その他
避難呼びかけ 避難確認 避難誘導 同行避難	非常災害対策計画、避難確保計画 福祉BCP	（地区防災計画） 福祉BCP 個別避難計画	（地区防災計画） 個別避難計画	（地区防災計画）
災害発生！				
安否確認 避難生活支援	福祉BCP	（福祉避難所） 福祉BCP	（福祉避難所）	
復旧復興	福祉BCP			

避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、**個別避難計画の作成**について**市町村の努力義務**という形で規定された。

⇒**要支援者だけでなく支援者の命も守る**

○**優先度が高いと市町村が判断した者**について、**地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度**で取り組んでいただきたい。

令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方について
(中間とりまとめ (2020年10月28日公表))

個別計画の重要ポイント

(個別計画の策定に係る体制)

○介護支援専門員や相談支援専門員は、避難行動要支援者のうち介護保険サービス等の利用者について、日頃からケアプラン等の作成を通じて、避難行動要支援者**本人の状況等をよく把握しており、信頼関係も期待できることから、個別計画策定の業務に、福祉専門職の参画を得ることが極めて重要**であり、その手法について最終取りまとめに向けて検討する必要がある。

⇒**介護、障がい事業所のBCPと重なる！**

当面の個別避難計画作成方針は？

○優先度の高い人から作成する

①ハザードマップのレッドゾーン

②本人の要介護度が高い

③支援者の支援度が低い

自治体の福祉担当者、防災担当者が間に入って、当事者と福祉や医療関係者等を中心に地域住民、民生委員等が話し合い

福祉専門職への研修、同行等の支援

1. 市町村、都道府県は福祉専門職が、個別避難計画の意義、効果、ハザードの理解、作成方法等を理解できるように、研修を実施する。
 2. 市町村職員は、場合によっては、福祉専門職と福祉サービス利用者の自宅に同行訪問し、個別避難計画作成の必要性を当事者・家族と話し合う。
- ⇒どこに避難するか？いつ避難するか？誰が避難支援するか？
- ⇒支援者がいない場合、近隣住民、町内会・自治会の支援が必要であり話し合いを提案する。

福祉専門職による個別避難計画作成支援

1. 自宅、職場、通勤路のハザードを理解し、自分・家族と同僚職員の避難方法を決める。

⇒まずは自らの安全の確保が最優先

2. 福祉サービス利用者の自宅のハザードを理解し、個別避難計画作成の必要性を当事者・家族と話し合う。

⇒どこに避難するか？いつ避難するか？誰が避難支援するか？

⇒支援者がいない場合、近隣住民、町内会・自治会の支援が必要であり話し合いを提案する。

⇒福祉専門職自身が避難支援することもあるが、遠隔地であつたり多数の要支援者を抱えていることを率直に伝える。

地域住民による個別避難計画

1. 洪水、土砂災害等のハザードを理解し、自分と家族の身を守る
2. 安全を確保したら、「事前に決めた高齢者、障がい者等（要支援者）」の避難・安否確認

※この仕組みを作ることが最重要！

⇒避難誘導は、消防団や自治会と協力

3. 自治会長等に避難・安否を報告する。
4. 高齢者や障がい者等も、避難支援者等に避難の有無を伝える。

わが家は大丈夫 富士宮市



避難行動要支援者の「マイ・タイムライン」と「地域タイムライン」

作成日：令和 2年7月29日

■災害への備えと個人情報使用の同意について

災害発生時に地域の支援者と安全に避難できるよう、「私に必要なこと」を理解してもらうため、私に関する情報を関係機関・者と共有することに同意します。

ふりがな	まつき はな					
氏名 (自署)	松木 はな	性別	男 女	生年月日	昭和 * 年10月10日	85歳
住所	兵庫県〇〇市〇〇町〇〇1丁目2番			電話番号	000-000-0000	

事業所名 ひょうのすけ相談室

作成者 ケアマネジャー兵庫太郎

災害リスクを知って「逃げるタイミング」を理解しましょう。地域で協力し、「誰ひとり取り残さない避難」へ。

■住まいに起こりうる災害は…ハザードマップで確認を

☐ 住まい	建築時期	昭和50年 頃 月	構造	木造・鉄骨・鉄筋 平屋建て
☐ 洪水		浸水区域内 区域外	浸水深	1.2 メートル
☐ 土砂災害		警戒区域内 区域外		

■ペットを飼っていますか ☒ はい ☐ いいえ

☒ 一緒に避難する チコちゃん (チワワ・メス10歳)

☐ 知人らに預ける (日前に)

■どこに避難しますか

☒ 避難先 1	ふくし小学校	距離	1.2km	手段	車いす	移動時間	30 分
☐ 避難先 2	岡山の娘宅	距離	150km	手段	車	移動時間	120 分

☐ 自宅の浸水しない場所 (2階以上など → ☐ 手助けが必要 ☐ 手助けは不要)

☒ 避難先 1 へ必要な時間 (① + ②)

計 75 分

☐ 避難先 2 へ必要な時間 (① + ③)

計 165 分

■持ち物リスト

☒ 現金 (小銭)	☒ マスク
☒ 保険証	☒ 手指消毒液
☒ 服用薬	☒ 体温計
☒ お薬手帳	☒ 石けん
☐ 携帯電話 (充電器も)	☒ 使い捨てビニール手袋
☒ 着替え	☐
☒ タオル	☐
☒ メガネ	☐
☒ 入れ歯	☐
☐ 補聴器	■自宅に必要な備え
☒ 車いす (借りる)	☒ 非常食 (4) 日分
☒ 杖・シルバーカー	☒ 飲料水 (4) 日分
☐	☒ 懐中電灯 (電池も)
☐	☐
☐	☐
☐	☐

目安の時間	警戒レベル	私の行動	地域（支援者）の行動
3 日前	•レベル 1 早期注意情報 災害への心構えを高める	☒家の周りの点検と片付け ☒気象情報の確認を始める（××川の様子も確認） ☒避難先・避難経路の確認 ☒水・食料・ガソリン服用薬などの準備 ☒避難先（親戚、知人宅）に連絡 ☐★娘宅（□□□-□□□-□□□□）に連絡 ☐状況と迎えが可能か確認する。 ☐⇒迎えが可能な時は移動。地域支援者に避難先を伝える	☒地区内の役割分担・連絡体制の確認 ☒避難経路の状況確認 ☒避難所の防災用品・備蓄品の確認 ☒要支援者と支援者の予定を確認 ☐ ☐
2 日前 1 日前 半日前	•レベル 2 大雨・洪水注意報 避難行動を確認 大雨洪水警報等	☒気象情報の確認 ☒避難経路の確認（××川の様子も確認） ☒非常用持ち出し袋の準備 ☒地域の支援者への連絡 ☐★佐藤さん（〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇） ☐★老人会長（△△△-△△△-△△△△） ☐★民生委員（×××-×××-××××） ☐	☒要支援者の所在確認【誰が：佐藤家、老人会長】 ☒避難所の開設確認【誰が：自治会長、老人会長】 ☒要支援者に避難準備呼びかけ ☐【誰が：佐藤家、老人会長、民生委員】 ☐ ☐ ☐
7 時間前	•レベル 3 高齢者等は避難開始	☒個別支援計画に沿って避難開始	☒要支援者に避難呼びかけ 【誰が：佐藤家、老人会長、自主防】 ☒要支援者の避難誘導開始【誰が：佐藤家、自主防】
3 時間前	•レベル 4 危険な場所から避難	★息子・娘へ避難先を伝える ・息子（◇◇◇-◇◇◇-◇◇◇◇） ・娘（□□□-□□□-□□□□）	☐ ☐ ☐
0 時間	•レベル 5 命を守る行動を！		☐

■自由記述欄

※ここに示した警戒レベルなどのタイミングはあくまでも目安であり、実際の災害時とは異なります。防災・気象情報などを参考にしながら、状況に応じて早めに判断してください。

地域、福祉、自治体縦割りモデル



- ・量が多い
- ・日常の付き合い少ない

- ・福祉支援に不安
- ・日常の付き合いが弱い

- ・避難支援に不安
- ・離れている

福祉、防災、コミュニティの連携で 「強み」を生かし「弱み」を補完する 避難支援体制

⇒日常も災害時も支え合える社会



2016年4月14日、16日熊本地震 最大震度 7

益城町建物被害 全半壊6,259棟、一部損壊4,325棟、無被害156棟

死者:273名 (災害関連死:218名)(熊本県.2021.4.13)

最大避難者:183,882名





多数の車中泊 保健福祉センター
H28:4:20 跡見学園女子大学 鍵屋撮影

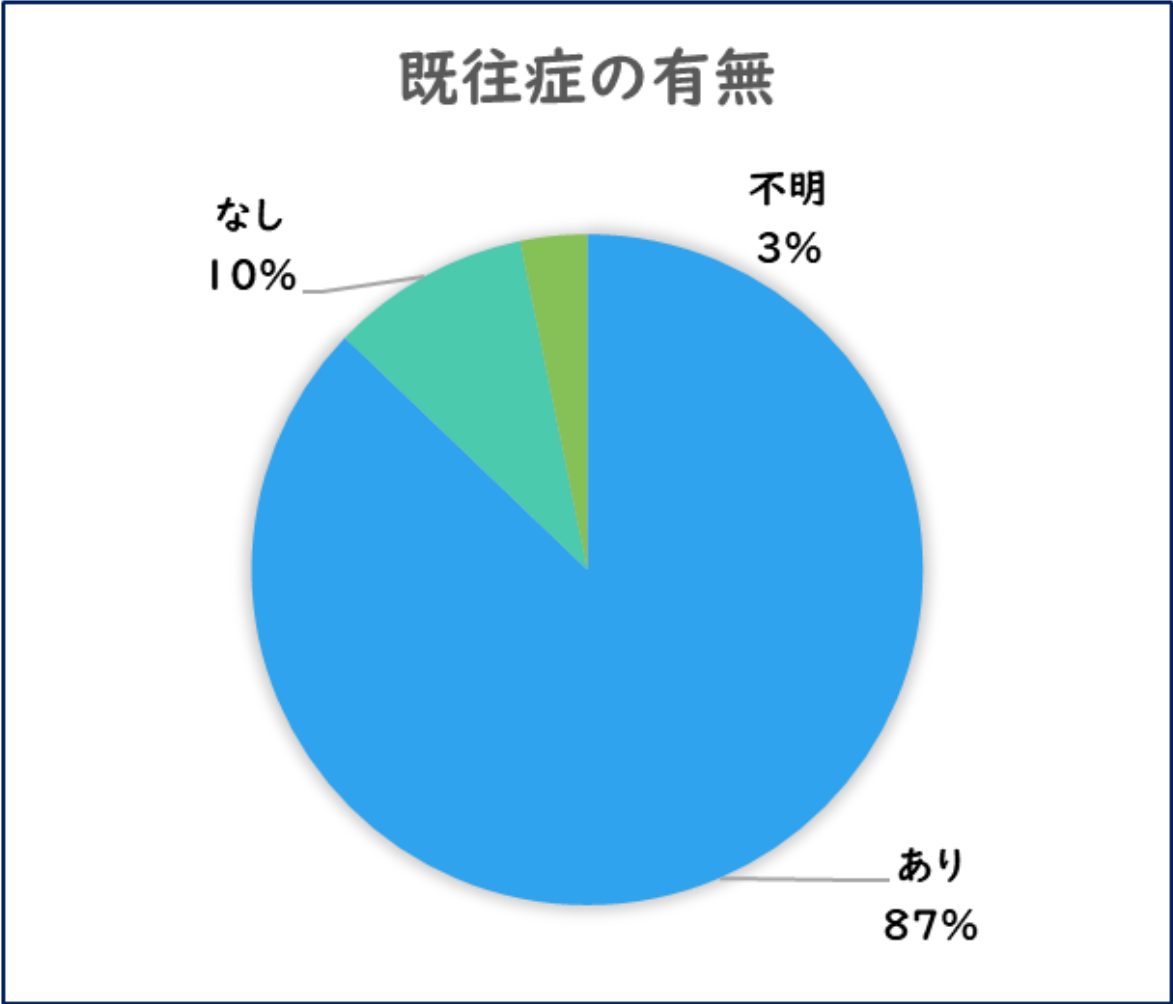
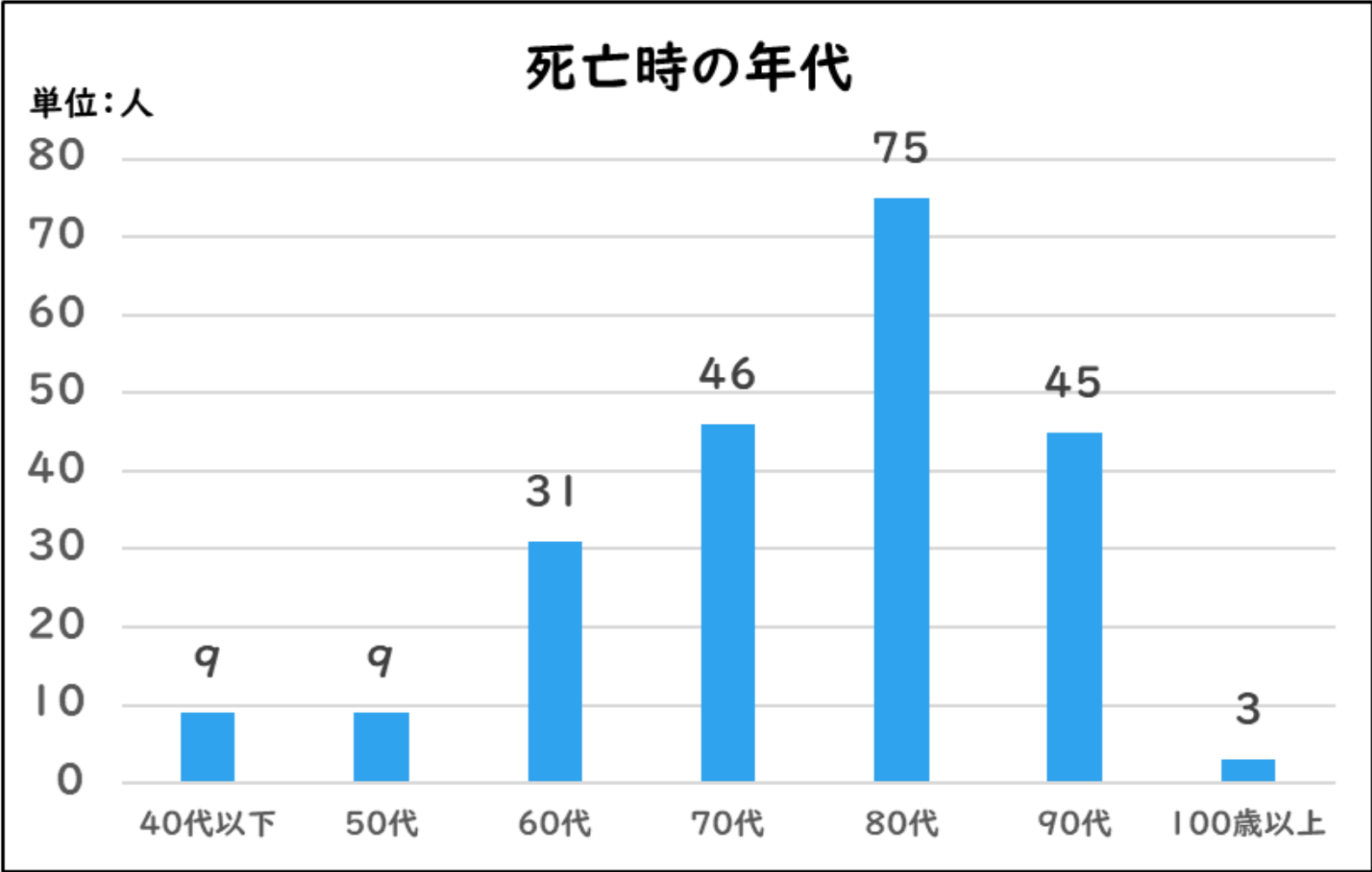
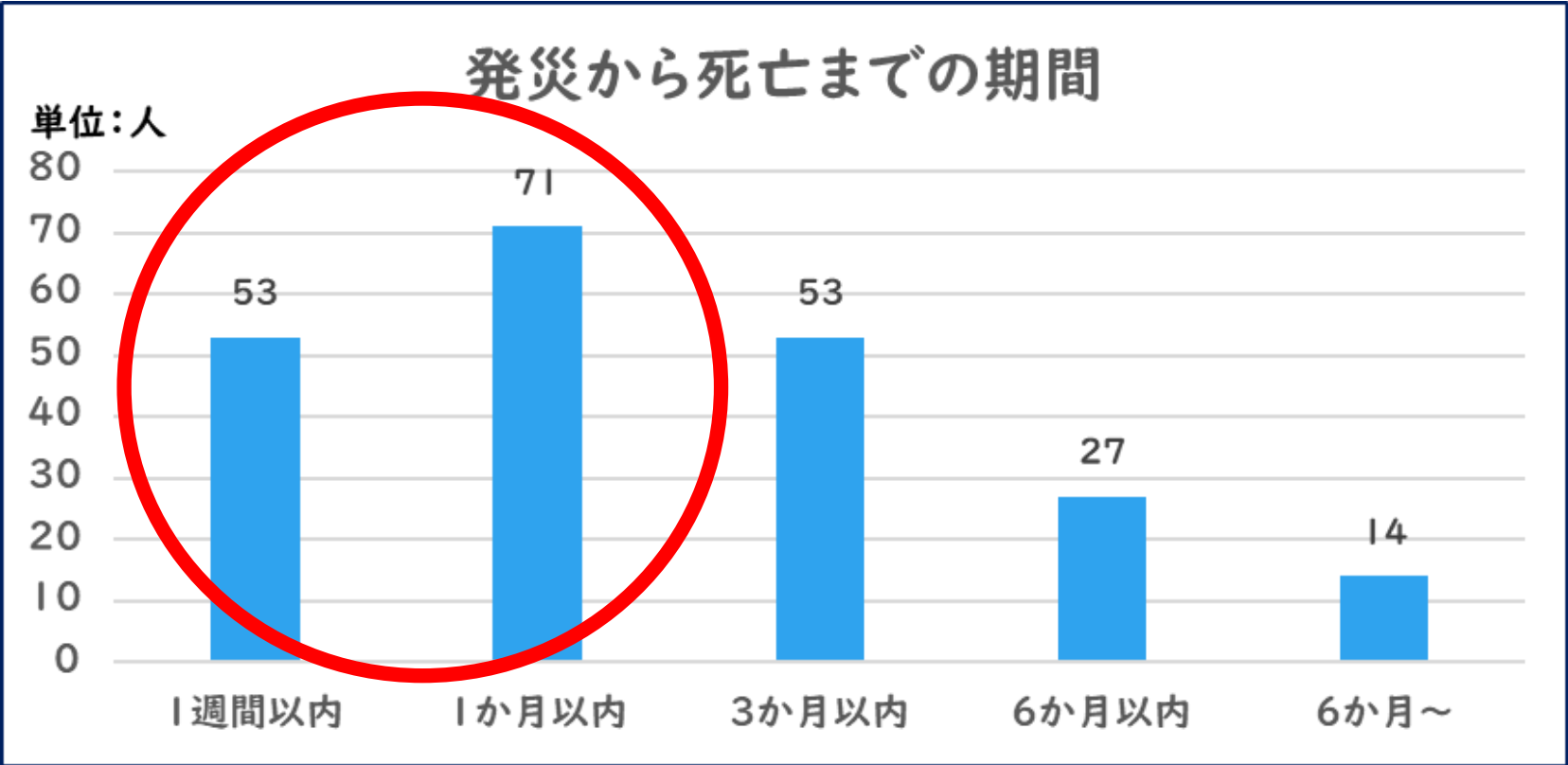
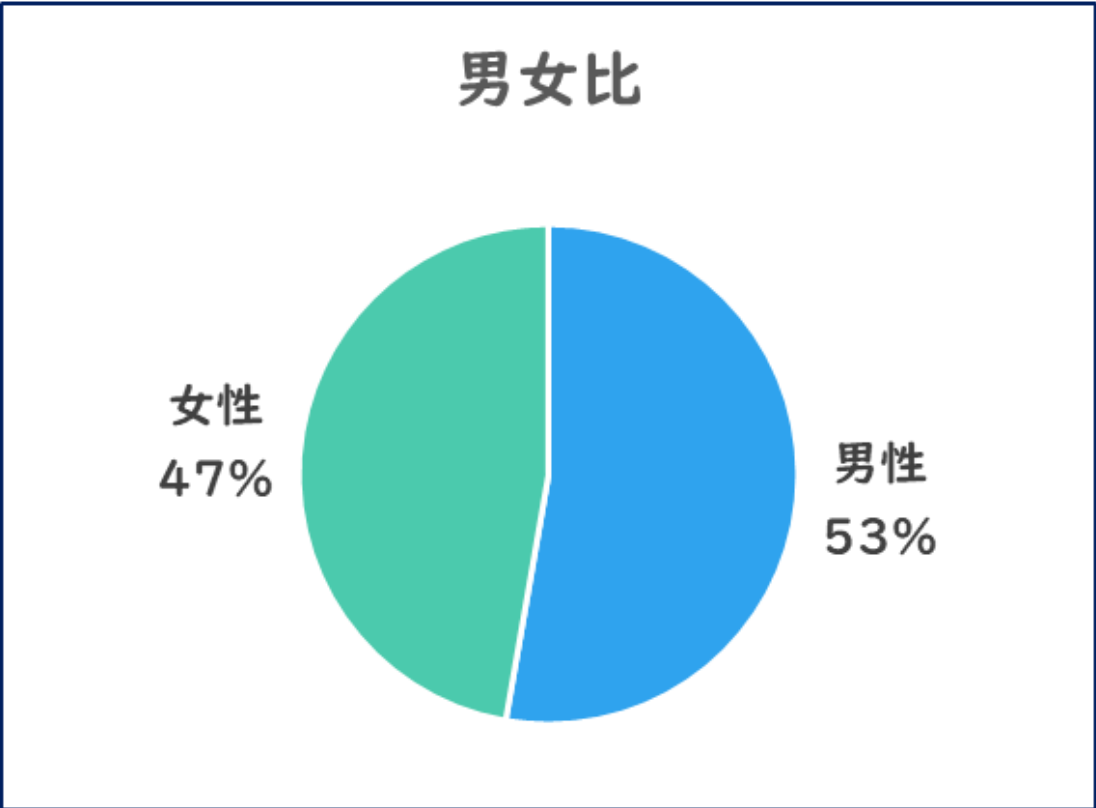
熊本地震震災関連死 死亡時の生活環境区分

生活環境	人数	割合
発災時にいた場所及びその周辺	12	5.5%
避難所等への移動中	0	0.0%
避難所滞在中	10	4.6%
仮設住宅滞在中	1	0.5%
民間賃貸住宅・公営住宅等滞在中	0	0.0%
親戚や知人の家に滞在中	8	3.7%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】	81	37.2%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【病院】	27	12.4%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【介護施設】	17	7.8%
入院又は入所後1か月以上経過し亡くなった場合【病院】	58	26.6%
入院又は入所後1か月以上経過しなくなった場合【介護施設等】	3	1.4%
その他・不明	1	0.5%
合計	218	

熊本地震での震災関連死内訳

令和3年3月末時点218件(更新)

出典:熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書、R3.4.9報道発表



在宅の高齢者等支援が重要！

**在宅の高齢者等の早急な見守り、
体調管理、保健・医療・福祉・生活
支援が重要**

**（地域の見守り活動、在宅介護事業
所のBCP、社協の支え合いセンター、
保健医療調整本部）**

※避難行動要支援者名簿を活用！

⇒体調が悪ければすぐに病院、福祉避難所へ！

多くの住民が避難する 避難スペース



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供

高齢者を支える福祉避難スペース



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供

福祉避難所の問題（1）

●福祉避難所は**二次避難所**なので、災害発生して数日後に開設するものである

⇒**一般の避難所に行けない人（認知症高齢者、知的・精神障がい児者、乳幼児等）はどうすれば？**

●避難所にいて、具合が悪くなった人を移送するものである

⇒**そもそも避難所で具合を悪くしてはいけない。移送は多大な調整、労力、時間を要する。**

福祉避難所の問題（２）

- 直接福祉避難所に行ってはいけない

⇒なぜ、高齢者、障がい者等がわざわざ遠い避難所に行かなければならないの？

- 健常な被災者もいると、福祉避難所にはできない

⇒避難所運営はかえって大変なのに、どうして？

- 福祉避難所は、福祉施設が開設する

⇒市町村の福祉センターなどはだめ？

(新) 福祉避難所ガイドライン

(2021年5月)

●市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合（災害時）で、高齢者等避難が発令された場合などには、指定福祉避難所を開設する。

●また、市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合で、一般の避難所に避難してきた者で福祉避難所の対象となる者がおり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉避難所の施設管理者に開設を要請する。

福祉避難所の新たな方向性

（高齢者等の避難支援に関するサブワーキンググループ報告書（2020.12.24））

- 高齢者・障害児者等の個別避難計画で、福祉避難所施設との**事前マッチング**を行う。
- 福祉避難所は**マッチングのできた者について、直接避難を受入れる**とともに避難生活の場とする。
- 福祉避難所の負担軽減のため、**受入れ者を限定した公示**を行う。（例）〇〇特別養護老人ホーム（高齢者限定）、〇〇特別支援学校（障害児限定）

誰もが利用できる一般避難所

高齢者等の避難支援に関するサブワーキンググループ報告書（2020.12.24）

- （中略）様々な避難者の相談窓口や支援を必要とする人のための福祉避難所的な機能を備えたゾーンやスペースを確保する等の措置も必要
- 感染症対策や熱中症対策などの保健、医療的な対応（中略）とともに、視覚や聴覚機能等に障害がある人への情報保障やピア・サポートの観点（中略）福祉的な面での質の確保も図る必要がある。
- 要配慮者やその家族には、避難先の希望や医療機器の使用など様々な事情があることから、そのニーズに応じた支援を行うことができる施設やスペース等の確保に努めることが求められる。

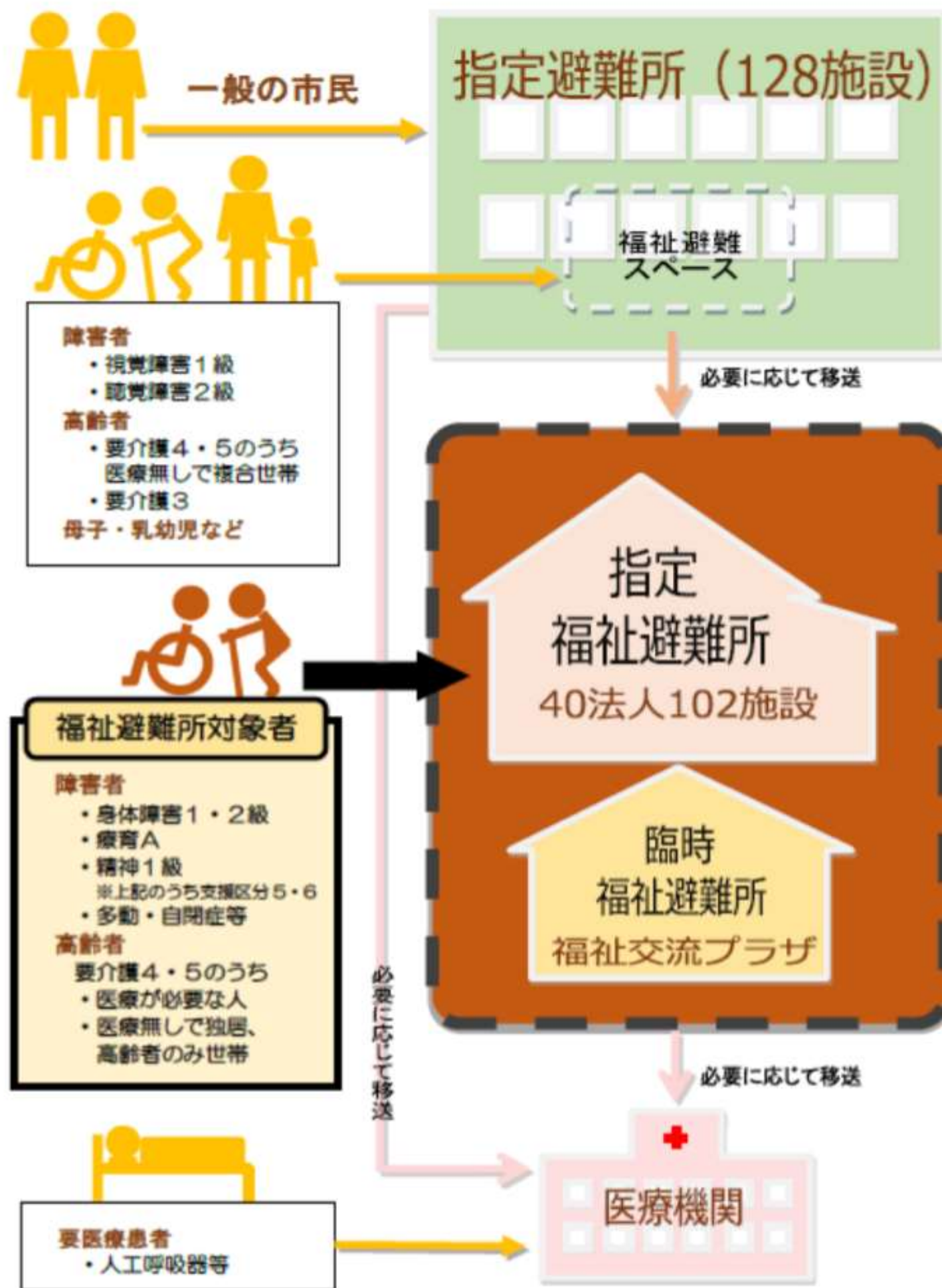
新潟県上越市の事例

高齢者等の避難支援に関するサブワーキング
グループ報告書（2020.12.24）

●あらかじめ市の聞き取り調査を終えて、避難する福祉避難所が指定されている人は、自宅から**直接避難**

●福祉避難所が指定されていない人は、まずは近くの**指定避難所内**
の福祉避難スペースを利用

《避難のイメージ》



大災害時、福祉施設はどうなる？

■施設が大被害で使えない

- ・安全な避難 △
- ・代替施設での利用者の保護 ×

■施設は使えるが周囲が大被害 避難所、福祉避難所 ×

⇒事業継続計画（BCP）必要

介護サービス事業者にBCP義務づけ

社会保障審議会介護給付費分科会 2020年12月23日より抜粋

1. 感染症や災害への対応力強化

②業務継続に向けた取組の強化

感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、**全ての介護サービス事業者を対象に、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施等を義務づける。**その際、3年の経過措置期間を設けることとする。

事業者求められる役割

介護保険ガイドライン8p 障がい者ガイドライン7p

- 利用者の安全確保
- サービスの継続
- 職員の安全確保
- 地域への貢献

①利用者の安否確認

介護ガイドライン19p、障がいガイドライン23p

- **利用者の安否確認方法を検討**し、整理しておく（別紙で確認シートを作成）。なお、負傷者がいる場合には応急処置を行い、必要な場合は速やかに医療機関へ搬送できるよう方法を記載する。
- 利用者の安否確認が速やかに行われるよう担当を決めておく。

※ **「否」にしないのが大事！**

⇒ **避難・避難生活支援が最重要！**

⇒ **地域住民との連携が必要！**

地域と福祉との連携

- ・ 地域は近いが専門性が弱い、夜は大勢いるが昼はみんな外に出ている・・・
- ・ 福祉は、すぐには駆けつけられない、昼は人手があるが、夜は少ない・・・

⇒一緒にやればいい！防災訓練に参加して課題と対策を話し合おう！

→水害避難時に傘をもってかけつけてくれた秋田の住民

→福祉施設の夜間訓練で避難誘導する長野の住民

福祉防災計画

消防計画・非常災害対策計画に、避難確保、福祉事業継続、地域貢献を加える

[1] 従来の消防計画・非常災害対策計画

災害直後の安全確保（避難・救助・消火等）

[2] 避難確保計画・レベル向上

安全な避難方法、複数の避難路・避難場所等

[3] 福祉事業継続

代替施設、利用者保護
在宅者の避難支援、
人の確保、備蓄物資等

[4] 地域貢献・連携

地域との支え合い、
個別避難計画作成支援
（福祉）避難所等

Business Continuity Plan

現場で
使える!

ひな型でつくる 福祉防災計画

～避難確保計画からBCP、福祉避難所～

防災マニュアルから
BCP(事業継続計画)への展開

「BCPのひな型と作成手順」

「福祉避難所の開設・運営訓練とマニュアル」掲載

監修・著者	鍵屋	一
著者	岡野谷	純
著者	岡橋	生幸
著者	高橋	洋



公益財団法人東京都福祉保健財団

孤独なボウリング

R・

パットナム(米国政治学会元会長)

ボウリングする人の数は減っていないが、みんなでする人は減り、一人が増えた！

◎アメリカの組織社会への参加率

以前のアメリカは市民の「つながり」が強かった。そのつながりが幸福な暮らしと民主主義を支えてきた。

1960年頃は30%⇒2000年頃は10%

⇒治安が悪化し、格差が大きくなり、社会の効率が悪くなった

決め手は「ご近所力」①

◎社会関係資本 Social Capital

人や地域のつながり＝信頼の絆＝ご近所力
社会関係資本は、人々を賢く、健康で、安全で、豊かにし、公正で安定した民主主義を可能とする。

※「ご近所力」は付加的価値ではない

※「ご近所力」こそが、安心安全の源泉

決め手は「ご近所力」②

◎ご近所＝コミュニティには2つの意味

① 地縁的・財産管理的な組織

・自治会・町内会、学校区組織、マンション管理組合

② 共通の目的・価値で活動する組織

・消防団、PTA、商店街、地域ボランティア・NPO・・・

地域のリーダーは、①②を縦横斜めに
連結し、地域全体の防災力とコミュニティ力、
個人の幸福感を高める

福祉、防災、コミュニティの連携で 「強み」を生かし「弱み」を補完する 避難支援体制

⇒日常も災害時も支え合える社会



人生を幸せにするのは何？

ロバート・ウォールディングー「心理学者、ハーバード成人発達研究4代目リーダー」最も長期に渡る幸福の研究から 出典:TED.com(2016年2月2日)

- ・75年間724人の男性を追跡し 休むことなく 仕事や家庭生活 健康などを記録
- ・1番目のグループはハーバード大学の2年生
- ・2番目のグループは極貧環境で 育った少年達

人を健康で幸福にする
のは 良い〇〇〇〇〇に
尽きる

これからの防災は？

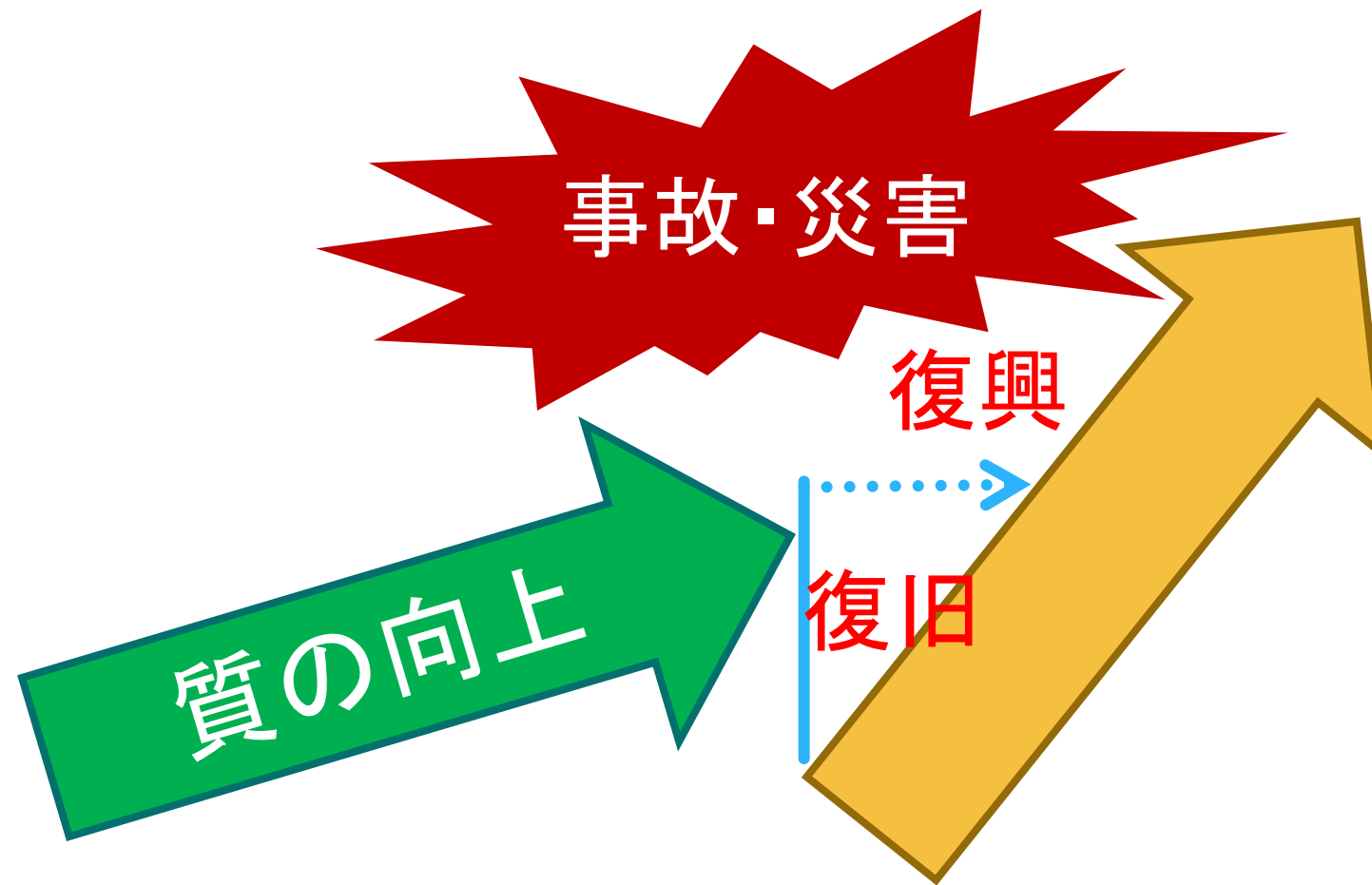
損失を減らす防災から、

「**価値向上型**」の防災へ

日常から人間関係、近所関係を
良好にし、**誰一人取り残さない**
魅力ある地域を作る

⇒災害や危機に「**も**」強くなる！

価値向上型防災の概念



◎価値向上への継続的取り組み

◎質の低下を最小に、早期に復旧復興を進める

⇒両方を実現する防災・BCへの取り組み

今日を愛し、明日に備える

**Fight 闘う君の唄を闘わない奴
等が笑うだろう**

**Fight 冷たい水の中をふるえな
がら上っていけ**

**中島みゆき「ファイト！」から
ご清聴ありがとうございました！**